

与論町海洋教育プログラム(提案書)

実施者: NPO法人海の再生ネットワークよろん/池田香菜
 連絡先: uminosaiseinetyoron@yahoo.co.jp/080-5075-3457

学習のねらい	<input type="checkbox"/> 海に親しむ	<input type="checkbox"/> 海を知る	<input checked="" type="checkbox"/> 海を守る	<input type="checkbox"/> 海を利用する
	「サンゴ礁が危ない。今と昔とこれからのサンゴ礁」 簡単に生き物としてのサンゴを復習し、昔のサンゴ礁風景について見て、今と昔の違いを学ぶ。サンゴ礁に何が起きているのか知り、身近に取り組めることを考える。			
	<input type="checkbox"/> 情報収集・判断	<input type="checkbox"/> 対話	<input type="checkbox"/> 問題解決	<input type="checkbox"/> 持続的利用
	<input type="checkbox"/> 感動	<input type="checkbox"/> 関係	<input type="checkbox"/> 主体	<input type="checkbox"/> 継続
実施について	対象: 小学5～6年生	時期: 通年	場所: 室内	時間: 45分(1コマ)
内容	<ul style="list-style-type: none"> ●担任の先生の挨拶、今日の流れの説明(5分程度) (池田主体で) サンゴについて簡単に説明(5分)。 ※必要によって、「サンゴ」の説明を詳しくする(「サンゴってなに?」参照)。 写真ヨロン島を用いて昔の写真を見る。 昔と今、どのようなことが起きたのか、グループごとに話す(10分) グループごとに話した内容を発表(10分)。 実際にサンゴ礁に何が起きているのか、説明(10分)。 最後に、「自分たちにはなにができるか」、考え発表(5分～10分)。 (ポストイットを1枚渡すので、生徒に1つ以上考え書いてもらい、模造紙に貼っていく) <ul style="list-style-type: none"> ●担任の先生の挨拶・まとめ(5分程度) 			
備品	持ち込み:「写真集ヨロン島」、ワークシート、(必要であれば模造紙) 準備:サンゴ教育冊子「ヨロン島とサンゴ礁」			
その他	「自分たちに何が出来るか」の部分を、課題にし、後日グループ学習の時間(1コマ)、発表の時間(1コマ)、実際に行動に移す...という流れが出来たらいいかもしれない。 ※赤字については先生と相談して授業内容について決めていく。			